

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

< 32週 > 咽頭結膜熱 - 定点当たり報告数は最近10年間の同時期と比較して最大 / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第32週時点での累積報告数は2,532



病原体情報
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - Vero毒素産生性大腸菌 / 咽頭結膜熱 / ヘルパンギーナ / 流行性角結膜炎 / 無菌性髄膜炎



速報
P.6

日本のAIDS患者・HIV感染者の状況 - エイズ動向委員会吉倉委員長コメント(要旨)



海外感染症情報
P.7

アンゴラの髄膜炎菌感染症 / インドでコレラの流行発生 / 他



感染症の話
P.8-10

咽頭結膜熱
小児の急性アデノウイルス感染症で、プールでの感染も見られることからプール熱とも呼ばれる



読者のコーナー
P.11

大人の麻疹ワクチン接種について



グラフ総覧(32週)
P.12-18



32週のデータ
P.19-26



発生動向総覧

第32週コメント 8月17日集計分

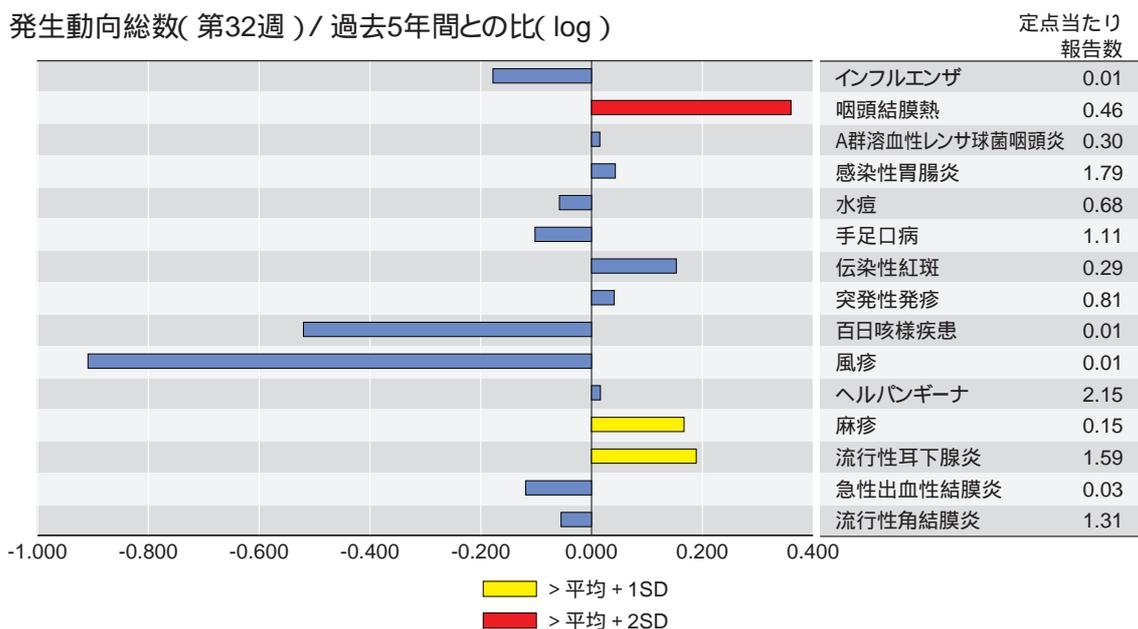
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ3例(推定感染地: 国内2例、インドネシア1例)、細菌性赤痢7例(推定感染地: タイ、インド各2例、カンボジア、ベトナム、バングラデシュ各1例)、腸チフス2例(推定感染地: インド、ボルネオ各1例)、パラチフス1例(推定感染地: ネパール)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症308例(詳細は4ページ「注目すべき感染症」参照)
- 4類感染症: アメーバ赤痢4例、オウム病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、ジアルジア1症、ツツガムシ病1例、破傷風1例、ライム病1例
 - 急性ウイルス性肝炎5例
 - A型4例
 - B型1例__感染経路: 不明
 - 後天性免疫不全症候群11例(AIDS 2例、無症候性キャリア9例)
 - 感染経路: 性行為10例(異性間5例、同性間5例)
 - 不明1例
 - 梅毒5例(早期顕症1例、無症候4例)、マラリア1例(熱帯熱、推定感染地: ラオス)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

咽頭結膜熱は、最近10年間の同時期と比較して最大の定点当たり報告数が2000年第41週から続いており、都道府県別では静岡県1.30、群馬県1.17、佐賀県1.13などの報告がある。麻疹、流行性耳下腺炎などの定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比較してやや多くなっている。

発生動向総数(第32週) / 過去5年間との比(log)

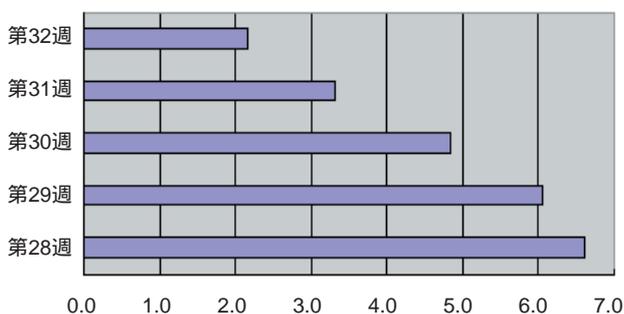


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

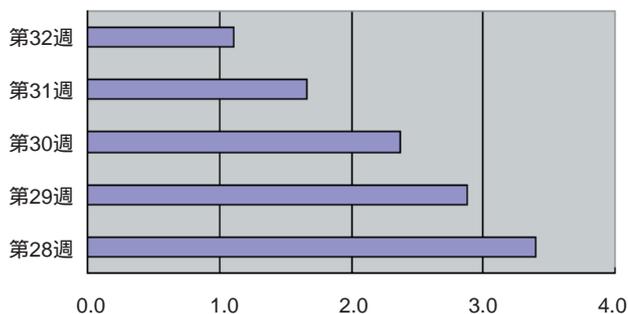
最近の注目疾患－5週間の動き

無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は前週に比べて増加した。ヘルパンギーナ、手足口病、咽頭結膜熱、流行性耳下腺炎などの定点当たり報告数は、いずれも前週に比べて減少した。手足口病については、第28週をピークとしてその後4週間は毎週減少している。咽頭結膜熱については、第19週より増加傾向を示してきたが、第30週にピークを形成し、その後2週間は減少している。流行性耳下腺炎については、第19週より増加傾向を示してきたが、第28週にピークを形成し、その後は減少傾向にある。

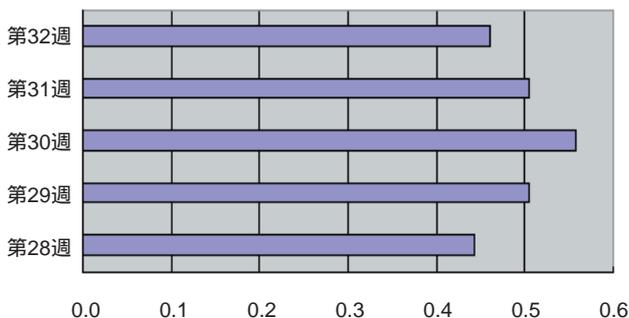
ヘルパンギーナ



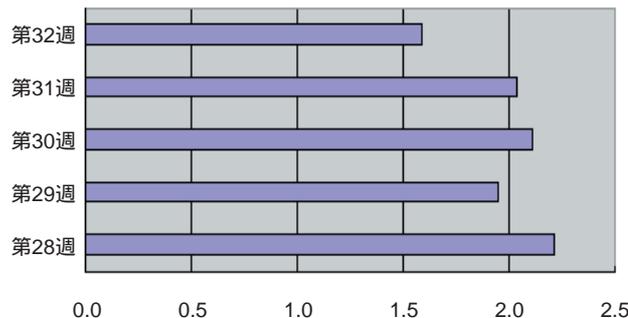
手足口病



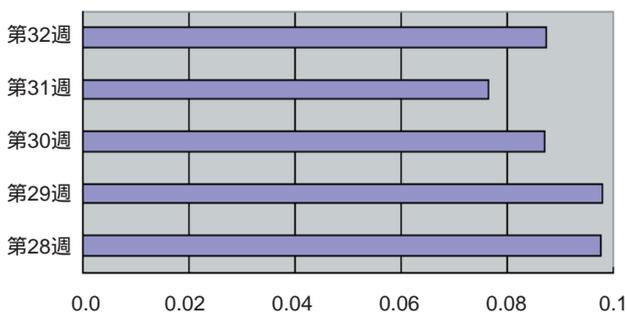
咽頭結膜熱



流行性耳下腺炎



無菌性髄膜炎



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

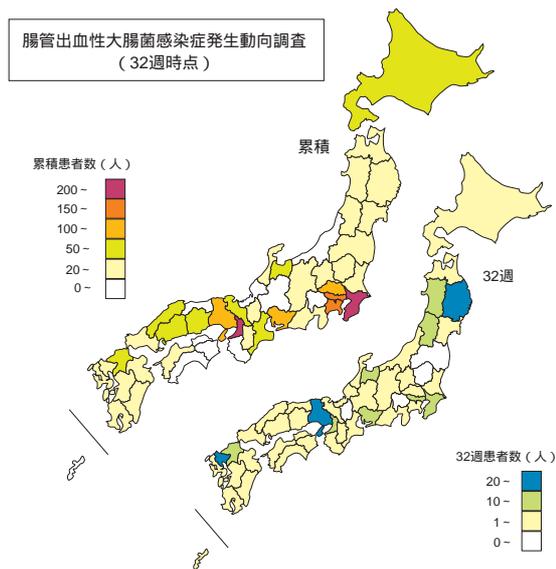


注目すべき感染症

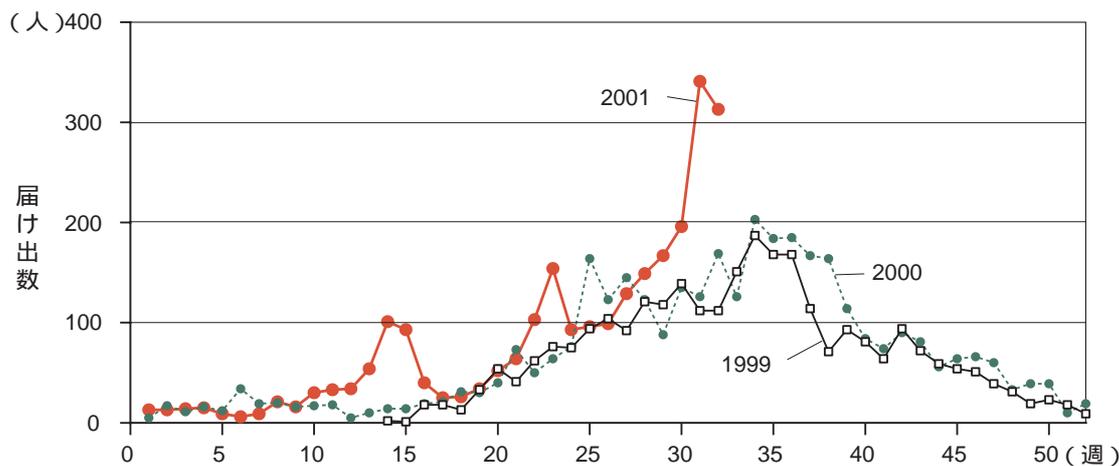
腸管出血性大腸菌感染症流行状況

2001年には早期から多数のO157感染症が広域発生した影響で、昨年に比べ患者報告数が早い時期から多くみられている。第32週の報告数は308例で、都道府県別では兵庫県27例、佐賀県23例、岩手県20例などの報告が多かった。有症状率については第30～31週では70%台であったが、第32週に関しては57%であった。菌型に関しては、O157(VT1+VT2)の菌株全体に占める割合が約半数弱であり、O26(VT1)がこれに次ぐ。

第32週時点での本年の累積報告数は2,532であり、都道府県別では千葉県242例、大阪府221例、東京都188例などの報告が多い。本年度の累積報告数を5歳刻みの年齢階級別にみると、0～4歳521例、5～9歳365例、10～14歳226例の順であるが、他の年齢層でも一定の割合で発生が見られる。検出された病原体については5ページを参照。



腸管出血性大腸菌感染症（無症状保菌者含む）届け出状況





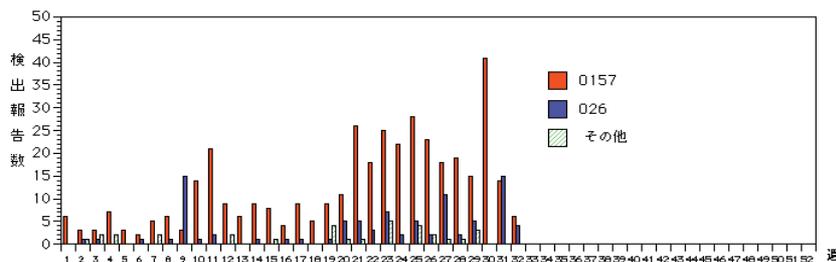
病原体情報

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2001年8月17日現在報告分)

ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌O157およびO26検出報告 2001年

本年のVero毒素産生性大腸菌の検出総数は、O157が398件、O26が92件である。第26週～27週にかけて、島根県で発生した集団発生事例からO26が10件報告され、第32週には同じく島根県から家族内発生によりO157が6件報告された。最近では、O157が第30週に41件(島根県12、石川県、兵庫県、佐賀県、熊本市各4、茨城県3など)、第31週14件(京都市5、熊本市4、島根県3、兵庫県2)、第32週6件(島根県6)、O26が第31週に15件(島根県15)、第32週に4件(島根県4)の報告があった。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2001年 (病原微生物検出情報：2001年8月17日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。



咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス 2001年

本年第19週以降に分離報告されたウイルスは、アデノウイルス3型54件(仙台市19、長野県13、新潟県7、札幌市、東京都各3、愛知県2、石川県、山梨県、滋賀県、兵庫県、岡山県、愛媛県、福岡市各1)、2型18件(仙台市10、兵庫県3、長野県2、新潟県、岡山県、福岡県各1)、1型4件(広島市2、兵庫県、熊本市各1)、4型4件(札幌市、新潟県、兵庫県、福岡市各1)、5型4件(兵庫県2、仙台市、北九州市各1)、7型2件(北九州市)である。

ヘルパンギーナ患者から分離されたウイルス 2001年

本年第19週以降に分離報告されたウイルスは、A群コクサッキーウイルス(CA)100件(4型29、2型24、8型13、5型12、10型11、6型8、9型3)、B群コクサッキーウイルス(CB)23件(4型13、5型7、1型2、3型1)、エコーウイルス(E)5件(11型4、6型1)である。

流行性角結膜炎患者から分離されたウイルス 2001年

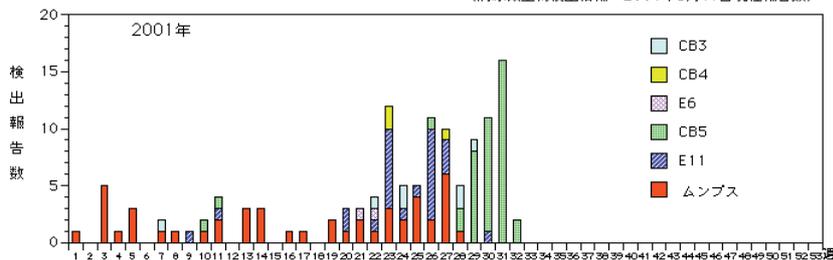
本年第19週以降に分離報告されたウイルスは、アデノウイルス3型11件(札幌市4、長野県2、愛知県2、熊本県、茨城県、東京都各1)、37型8件(札幌市3、熊本県3、長野県1、岡山県1)、19型5件(札幌市、山形県、大阪府、岡山県、広島市各1)、8型4件(札幌市2、茨城県1、横浜市1)、2型1件(京都市)、6型1件(長野県)である。

無菌性髄膜炎患者から分離されたウイルス 2001年

本年第19週以降に分離報告されたウイルスは、ムンプスウイルス24件(東京都8、新潟県3、広島県3、京都市2、大阪市2など)、エコーウイルス(E)30件(11型24、3型3、6型2、25型1)、B群コクサッキーウイルス(CB)48件(5型39、3型6、4型3)、A群コクサッキーウイルス(CA)3件(9型2、4型1)、エンテロウイルス71型(EV71)1件である。

週別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離報告数、2001年

(病原微生物検出情報：2001年8月17日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。





日本のAIDS患者・HIV感染者の状況(平成13年3月26日 ~ 6月24日)

厚生労働省健康局疾病対策課
平成13年7月31日

エイズ動向委員会吉倉委員長コメント(要旨)

1. 今回の報告期間は平成13年3月26日より6月24日までの約3ヶ月であり、法定報告は患者数は92件(前回63件)、感染者数は144件(前回129件)であった。
なお、患者に関する任意報告は6件(前回1件)であった。
今回報告件数は前回報告と比較して、患者は29件の増、感染者は15件の増であった。

* 前回は平成13年1月1日 ~ 3月25日までの約3カ月間

2. 感染経路別に見ると、AIDS患者では異性間性的接触によるものが37件、HIV感染者では同性間性的接触によるものが80件とそれぞれ第1位を占めていた。これは前回同様の傾向と言える。患者の感染経路が不明の例が増加しているのも今回の特徴である。
年齢別では前回同様、患者・感染者ともに各年齢層に分布しているものの、患者では30代以上、感染者では20代 ~ 30代が占める割合が高い。
性別では、女性は異性間性的接触による感染、男性は異性間・同性間性的接触とも増加傾向にあると言える。
3. 今回の報告では、患者・感染者数ともに増加しているが、特に患者数の増加が目立っている。この傾向は男女ともに認められるが、この傾向が一時的なものであるかどうか、今後の動向に注意していかなくてはならない。
4. 平成13年第2四半期における保健所でのHIV抗体検査・相談受付実施件数を集計した。検査件数は18,367件(前回11,370件)、相談件数は36,342件(前回25,400件)であり、今後の推移に注目していきたい。



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

アンゴラの髄膜炎菌感染症

WHO/CSR 2001年8月15日

5月の第3週以来、アンゴラのBalomboで死亡患者17例を含む77例の髄膜炎菌感染患者(致死率22%)がWHOに報告された。検査においてA群髄膜炎菌が確認されている。

流行している地域では、1週間で人口10万人当たり15例の流行閾値(epidemic threshold)を上回っており、今年の初めからの累積発病率(cumulative attack rate)は人口10万人当たり212例である。他の地域からのデータは現時点では入手できていない。

8月13日、Balomboの2歳以上の住民を対象として集団ワクチンキャンペーンが開始された。国境なき医師団(MSF)はワクチンキャンペーンを援助し、ワクチンやディスプレイ注射器、および治療のためのクロラムフェニコールを供給している。

インドでコレラの流行発生

WHO/CSR 2001年8月14日

2001年7月7日以来Orissa(オリッサ)州政府は、インドのオリッサ州の24地区で33例の死亡患者を含む34,111例の下痢症患者を報告した。オリッサ州は人口3,700万人であり、そのうちの800万人が洪水の被害を受けていた。下痢症患者はこの洪水に関連して発生した。

重症な急性下痢症患者から集められた便検体のうち、5地区から得られた121検体が *Vibrio cholerae* 陽性であり、そのうちの46%がO139であった。全コレラ患者に占めるO139の比率は、2000年に近隣のバングラデシュで発生した時は、沿岸地域で7.2%、内陸地域で24%であった。今回のインドでのO139の比率は、バングラデシュの流行でみられたものより高かった。

チャドでコレラ流行—更新2

WHO/CSR 2001年8月15日

2001年8月12日現在WHOは、チャドの南西部で死亡患者83例を含む1,959例のコレラ患者(致死率4.2%)を報告した。

危機管理委員会(Emergency Coordination Committee)は流行監視を続けており、特にN'djamena地区でのサーベイランス活動を強化している。



感染症の話

咽頭結膜熱

咽頭結膜熱(pharyngoconjunctival fever, PCF)は発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性ウイルス性感染症であり、プールでの感染も見られることからプール熱とも呼ばれる。

疫学

本疾患の原因であるアデノウイルスは、特に季節特異性がなく年間を通じて分離される。しかしながら、疾患としての咽頭結膜熱は6月頃から徐々に増加しはじめ、7～8月にピークを形成する夏期の疾患である。通常は学童年齢の罹患が主であるとされているが、感染症発生動向調査での罹患年齢からは、5歳以下が約6割を占めている。感染経路は通常飛沫感染であるが、プールでは結膜からの感染や経口的な感染も考えられる。

最近の発生状況に関しては、過去10年間の同時期と比較して最大の定点当たり報告数が、2000年第41週から2001年第32週まで続いている。

病原体

アデノウイルスは正20面体構造をとるDNAウイルスであり、エンベロープを有しない。51種類の血清型が知られており、咽頭炎、扁桃炎、肺炎などの呼吸器疾患、咽頭結膜熱、流行性角結膜炎などの眼疾患、胃腸炎などの消化器疾患、出血性膀胱炎などの泌尿器疾患から、肝炎、膵炎から脳炎にいたるまで、多彩な臨床症状を引き起こす。咽頭結膜熱をおこすのは多くは3型、あるいは4型、7型であるが、逆に、これらの血清型のアデノウイルスが感染しても、必ずしも咽頭結膜熱の症状を来すとも限らない。乳幼児の急性気道感染症の10%前後がアデノウイルス感染症と言われ、アデノウイルスは小児で重要な病原体である。

臨床症状

発熱で発症し、頭痛、食欲不振、全身倦怠感とともに、咽頭炎による咽頭痛、結膜炎にともなう結膜充血、眼痛、羞明、流涙、眼脂を訴え、3～5日間程度持続する。眼症状は一般的に片方から始まるが、その後他方にも出現する。また、結膜の炎症は下眼瞼結膜に強く、上眼瞼結膜には弱いとされる。眼に永続的な障害を残すことはない。また、頸部特に後頸部のリンパ節の腫脹と圧痛を認めることがある。潜伏期は5～7日とされている。

病原診断

確定診断には、患者の鼻汁、唾液、喀痰、糞便、拭い液や洗浄液、胸水、髄液などを検査材料としてウイルス分離を行うか、あるいはウイルス抗原を検出する。最近、ラテックス凝集(LA)反応や酵素抗体(ELISA)法での抗原検出キットが市販され、早期診断に使用されているが、血清型別の判定はできない。しかしながら、近年遺伝子診断(PCR法や制限酵素切断法など)が可能となり、迅速診断に有用で、簡便かつ型別判定が可能である。

血清学的診断では急性期と回復期のペア血清を用い、赤血球凝集阻止反応(HI)、補体結合

反応(CF)、中和反応(NT)などが行われる。CFは感度の点でやや劣り、しかも血清型の特定はできない。NTおよびHIなどは型特異的な測定法であるとされるが、実際には交叉反応があり、型の特定が困難なこともある。

治療・予防

特異的治療法はなく、対症療法が中心となる。眼症状が強い場合には、眼科的治療が必要になることもある。

予防としては、感染者との密接な接触を避けること、流行時にうがいや手指の消毒を励行することなどである。消毒法に関しては、手指に対しては流水と石鹼による手洗い、および90%エタノール、器具に対しては煮沸、次亜塩素酸ソーダを用いる。ただし、エンベロープを持たないアデノウイルスにおいては、消毒用エタノールの消毒効果はエンベロープを持つウイルス(たとえば、ヘルペスウイルスなど)に比較すると弱いとされる。逆性石鹼、イソプロパノールには抵抗性なので注意を要する。7型による感染症は心肺機能に基礎疾患を有する小児で重症化の危険性が高く、特に院内感染対策上重要である。

プールを介しての流行に対しては、水泳前後のシャワーなど一般的な予防方法の励行が大切であるが、ときにはプールを一時的に閉鎖する必要もある。

アデノウイルス感染症の重症化

ここでは咽頭結膜熱から少し離れ、最近問題となっているアデノウイルスによる重症化を取り上げる。

近年のアデノウイルスの傾向として、以前には少なかった7型が増加したことがあげられる。わが国ではアデノウイルス7型の分離報告は、1994年までは極く少数の散発例のみであったが、1995年以降急激に増加した。注意すべき点は心肺機能低下、免疫機能低下等の基礎疾患のある人、乳幼児、老人では重篤な症状となり、呼吸障害が進行したり、さらに細菌の二次感染も併発しやすいことである。検査所見として特徴的なことは、血清LDHの異常高値、血球減少傾向、ならびに高サイトカイン血症である。高サイトカイン血症を示唆するフェリチン、 α_2 ミクログロブリンなどの上昇を伴う場合には、ステロイド剤の適応を含め、早急な対応が必要である。感染症関連の学会などでも、各地の医療機関よりアデノウイルス7型感染による重症例の報告が相次いだ。1999年以降7型の分離報告は減少し、その傾向が目立たなくなったが、このウイルスの動向には今後も引き続き注意を払う必要がある。

また最近、造血幹細胞移植後を含む免疫抑制状態にある患者での重症アデノウイルス感染症が問題になっている。抗ウイルス剤としてリバビリンが有効であったという報告がある一方、無効であったとの報告も散見され、一定の見解は得られていない。2001年のClin. Infect. Dis.にBordignonらが、造血幹細胞移植後303名のレトロスペクティブ調査の結果を報告しているが、35名にアデノウイルス感染症が発症している。治療として用いたリバビリンとビダラビンには効果がなく、シドフォビアあるいはドナーの白血球輸注を早期に試みる方法の候補として報告している。しかし、リバビリンとシドフォビアは我が国では入手が困難な状況である。

発生動向調査について

咽頭結膜熱は4類感染症定点把握疾患であり、全国約3,000の小児科定点医療機関から週毎に報告がなされている。報告の基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下の2つの基準をすべてを満たすもの

1. 発熱、咽頭発赤
2. 結膜充血

上記の基準は必ずしも満たさないが、診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、病原体診断や血清学的診断によって当該疾患と診断されたもの

学校保健法での取り扱い

学校保健法では、第二種伝染病に位置づけられており、主要症状が消退した後2日を経過するまで出席停止とされている。ただし、病状により伝染の恐れがないと認められたときはこの限りではない。

(国立感染症研究所感染症情報センター)

読者のコーナー

Q:まだ麻疹にかかったことがなく、麻疹の予防接種を考えております。どのホームページを拝見しても大人の予防接種について書かれているものが見当たらず、疑問に思いメールいたしました。この先妊娠・出産を考えているので、子供などからの感染で重症になるのを避けるためにも受けておいた方がいいのでは、と思っております。私ぐらいの年でも接種が可能なのか、また可能ならば接種に適切な時期があるのか、また医療機関によってまちまちかと思いますが、費用など教えていただけますでしょうか?よろしくお願ひいたします。(34歳女性1さん)

大人の麻疹ワクチン接種について

結論から先に言いますと、大人であっても年齢に関係なく麻疹ワクチンを接種することは可能です。ただし、12カ月～90カ月以外の方に接種する場合は任意接種となり、自費負担となります。接種後の反応は子供の場合と同じです。妊娠出産を考えられているのであれば、是非お子さまができる前に接種されることをお勧めいたします。接種時妊娠していないことが確実であること、接種後は2カ月間確実に避妊するようにしてください。接種してしまった後妊娠が判明したり、接種後すぐに妊娠してしまったということがないように、くれぐれもご注意下さい。費用はおっしゃるとおりで、医療機関によってまちまちです。だいたい数千円の単位になります。

現在日本各地で麻疹が流行しています。成人麻疹は子供より重症になることが多いため、ワクチンでの予防はメリットが大きいと思います。

(国立感染症研究所感染症情報センター)

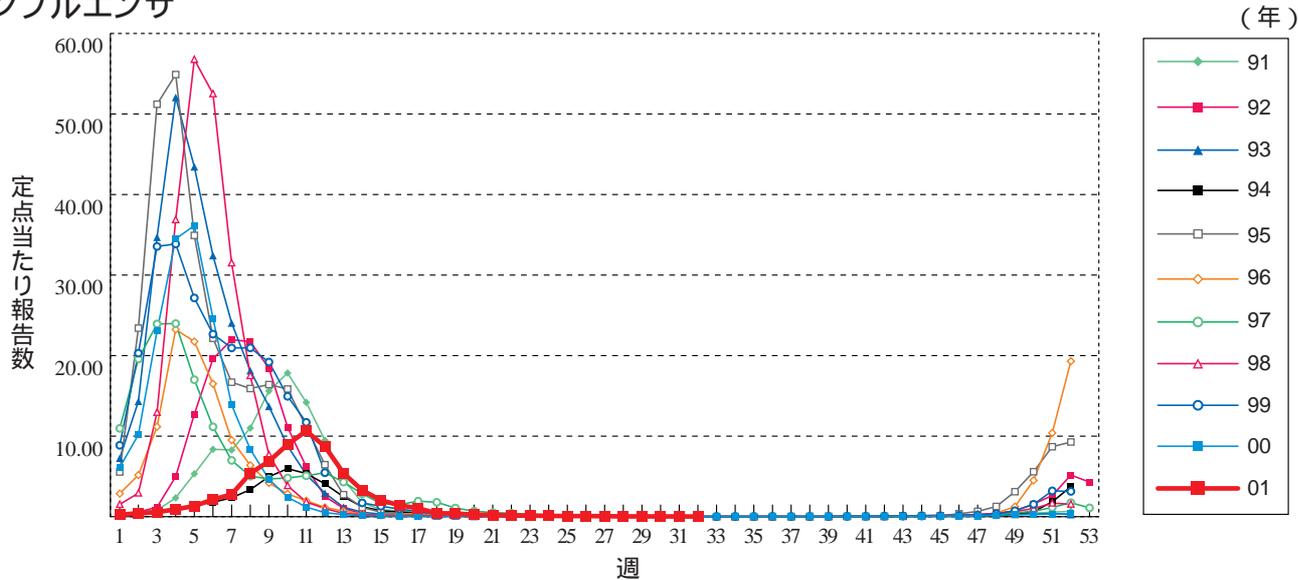
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-QをつけてこちらまでEメールでどうぞ。

idsc-query@nih.go.jp

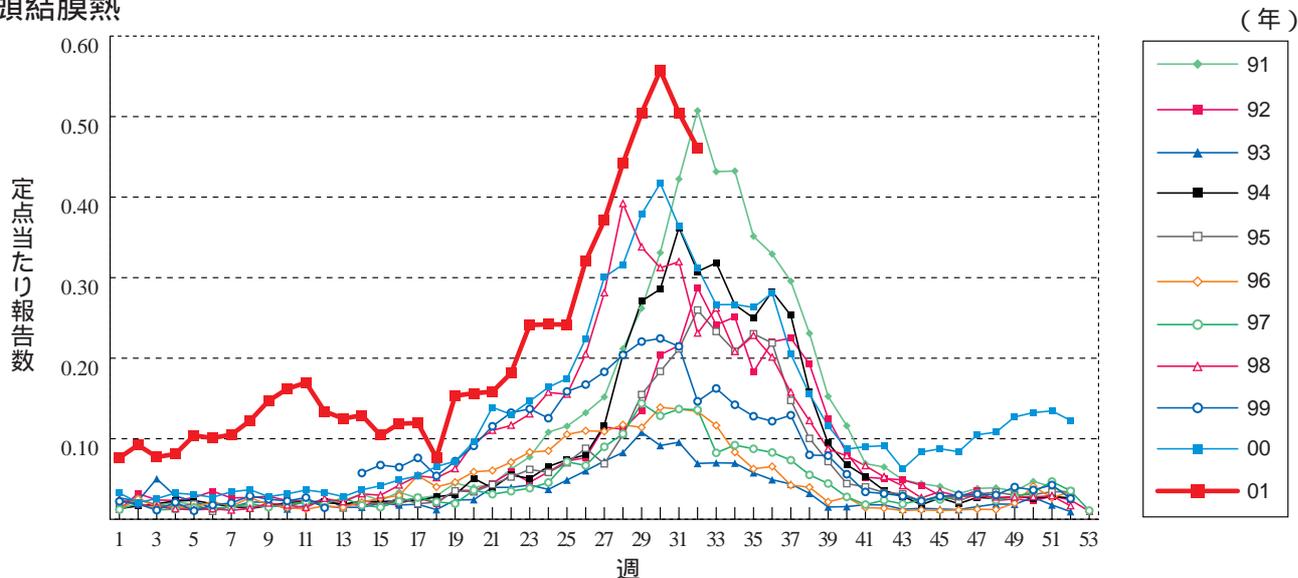


グラフ総覧(32週)

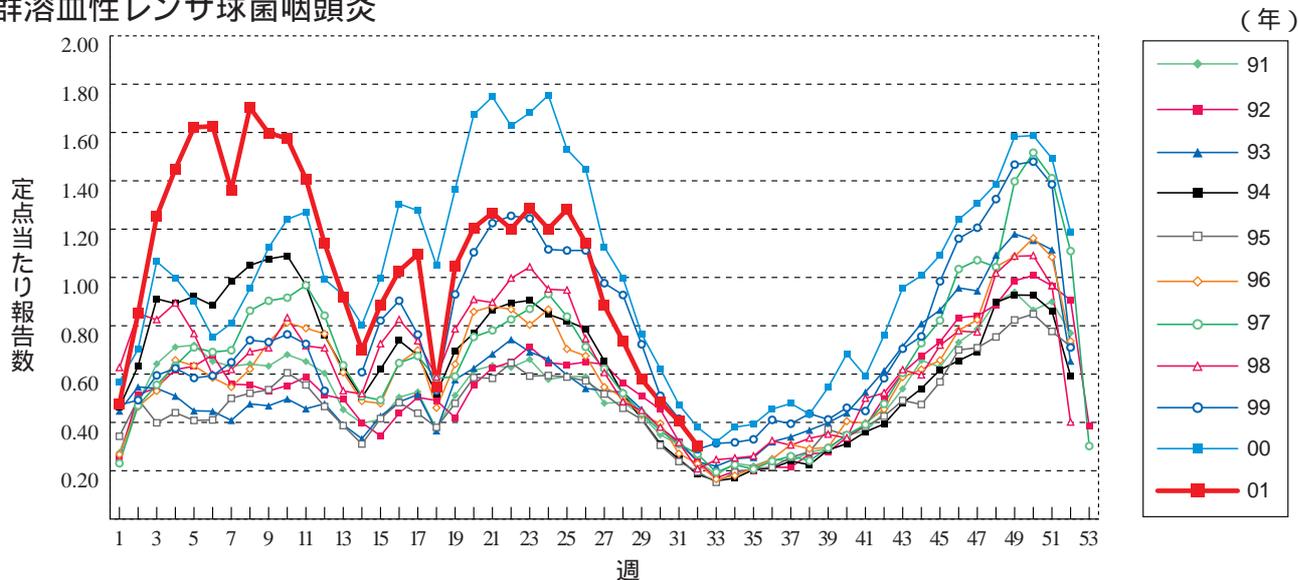
インフルエンザ



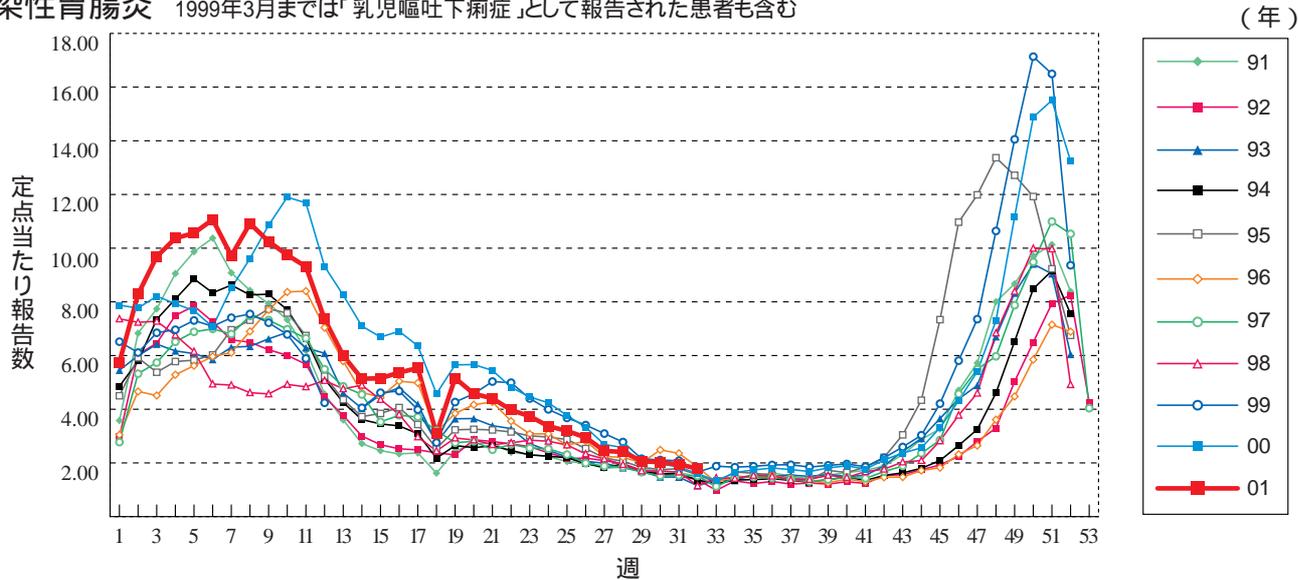
咽頭結膜熱



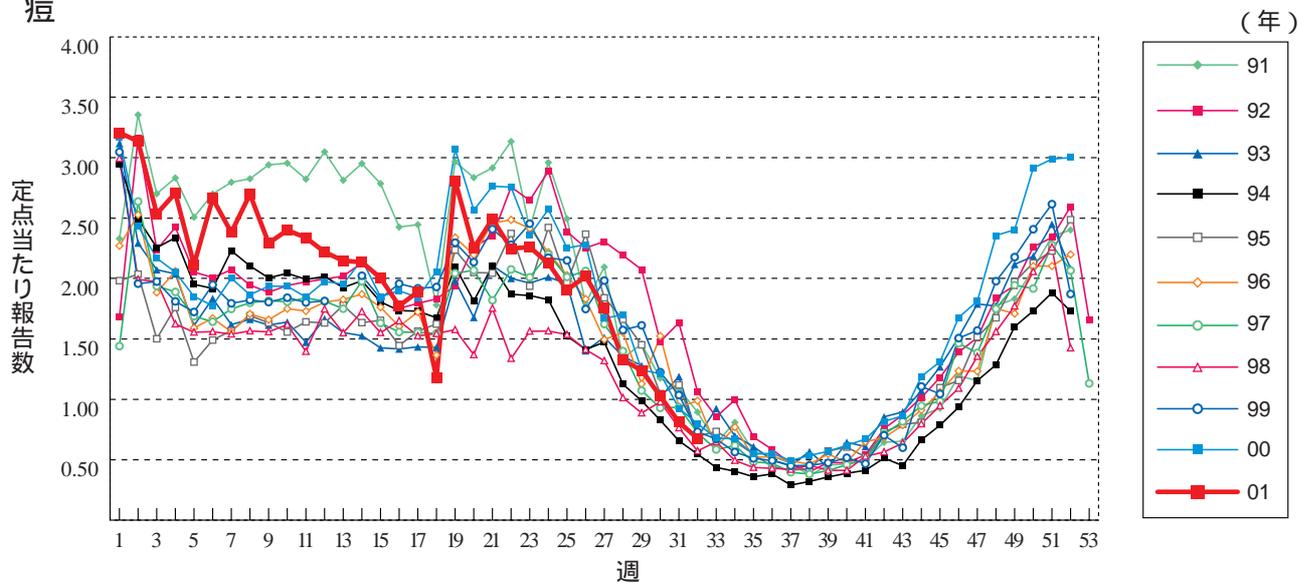
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



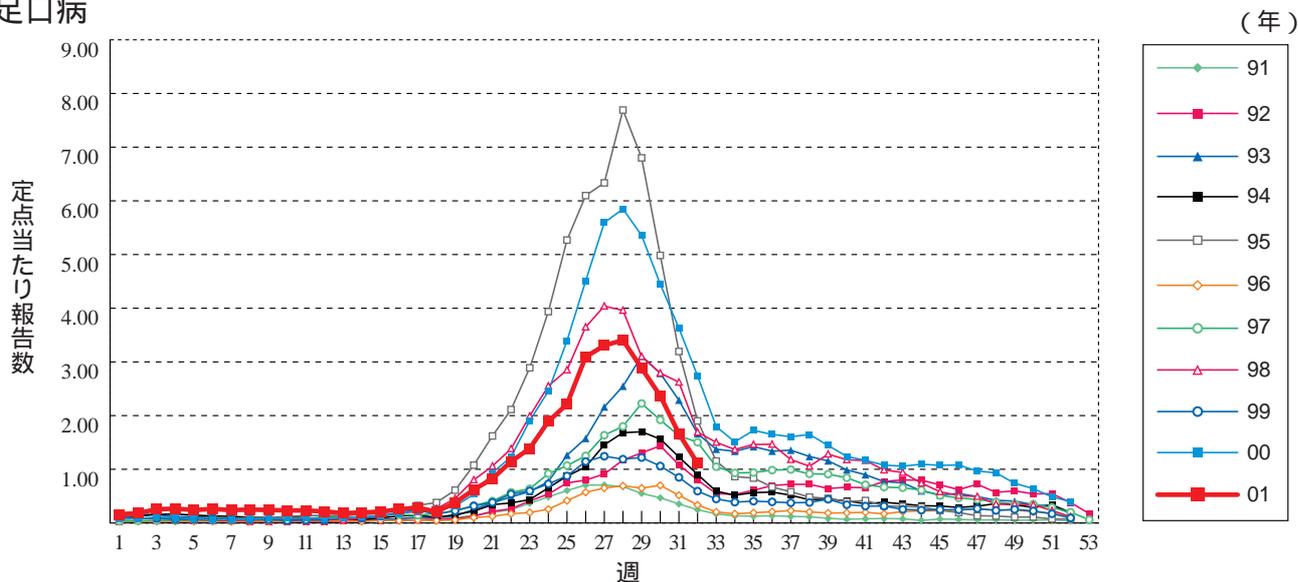
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



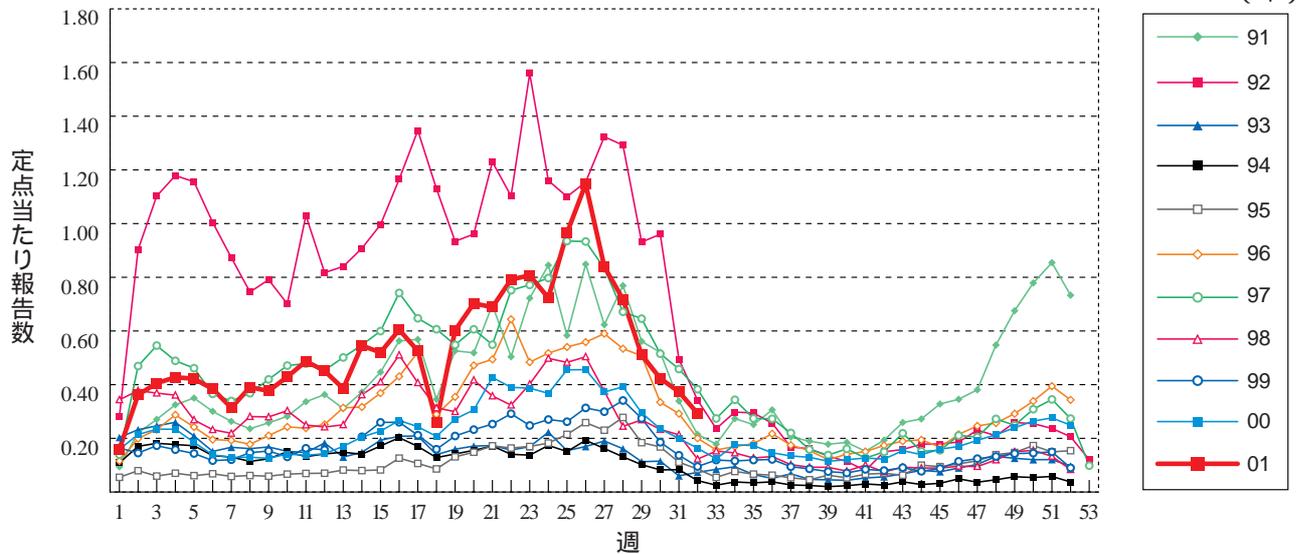
水痘



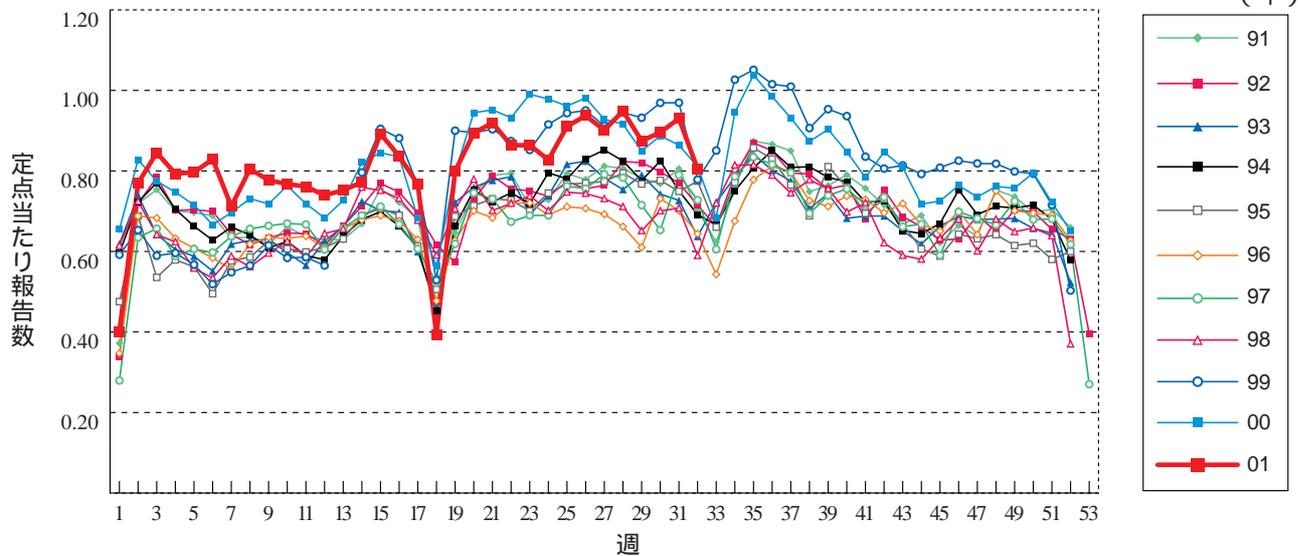
手足口病



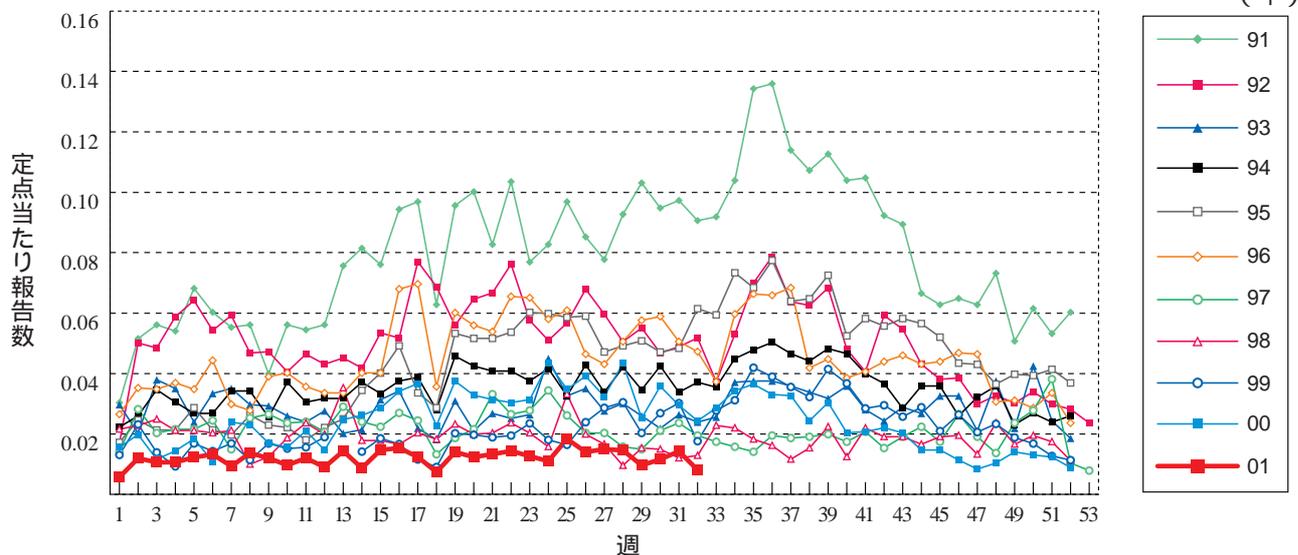
伝染性紅斑



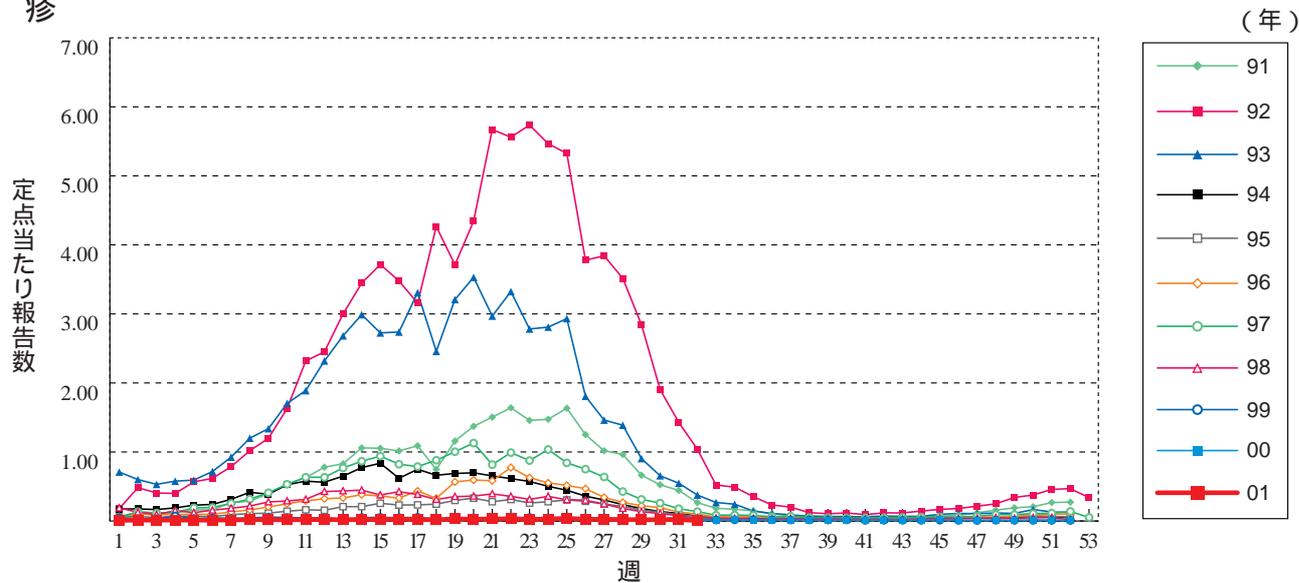
突発性発疹



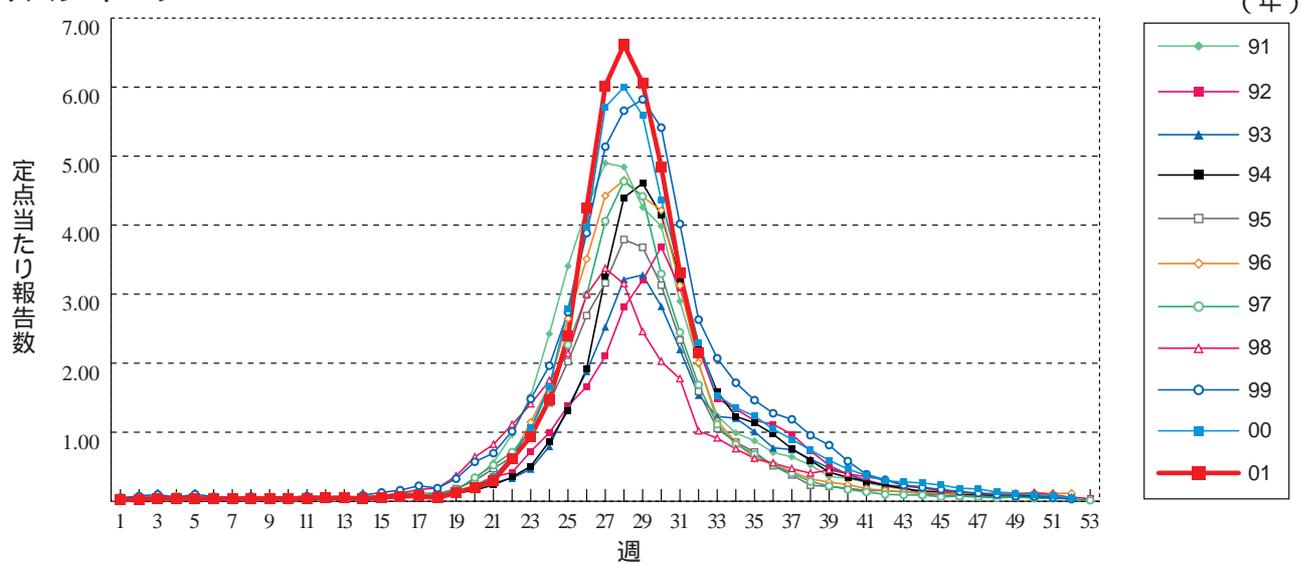
百日咳



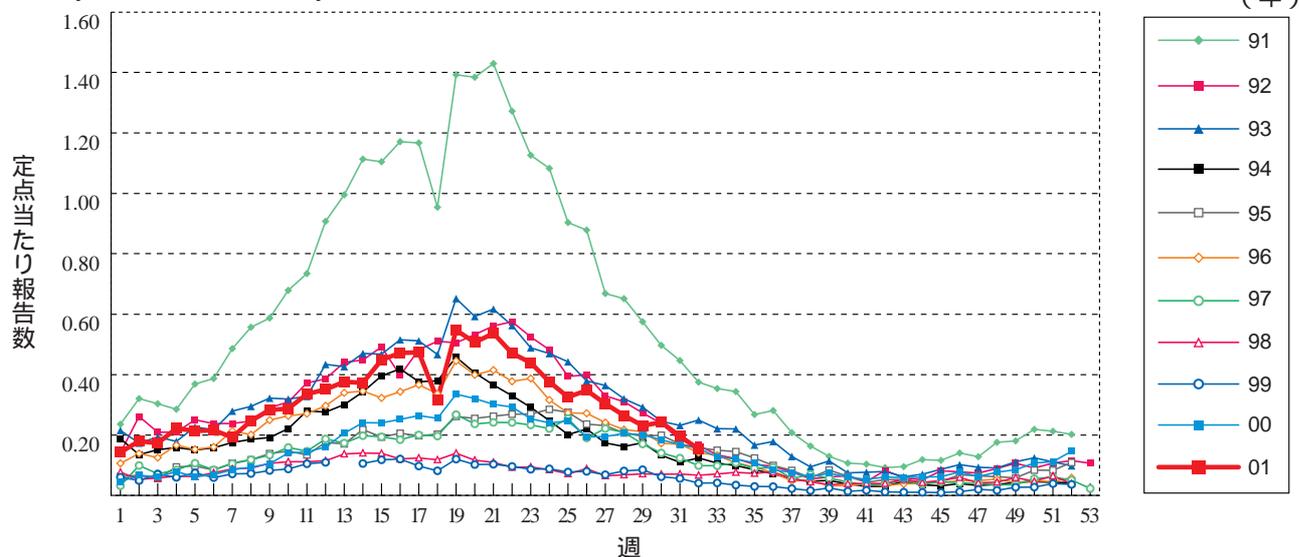
風 疹



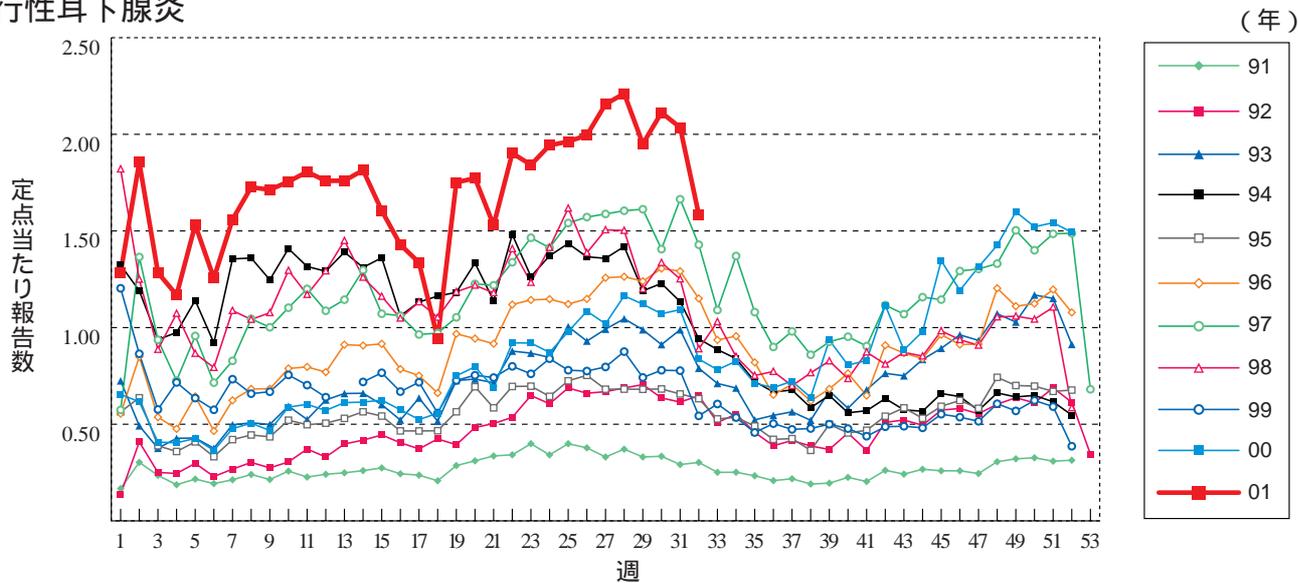
ヘルパンギーナ



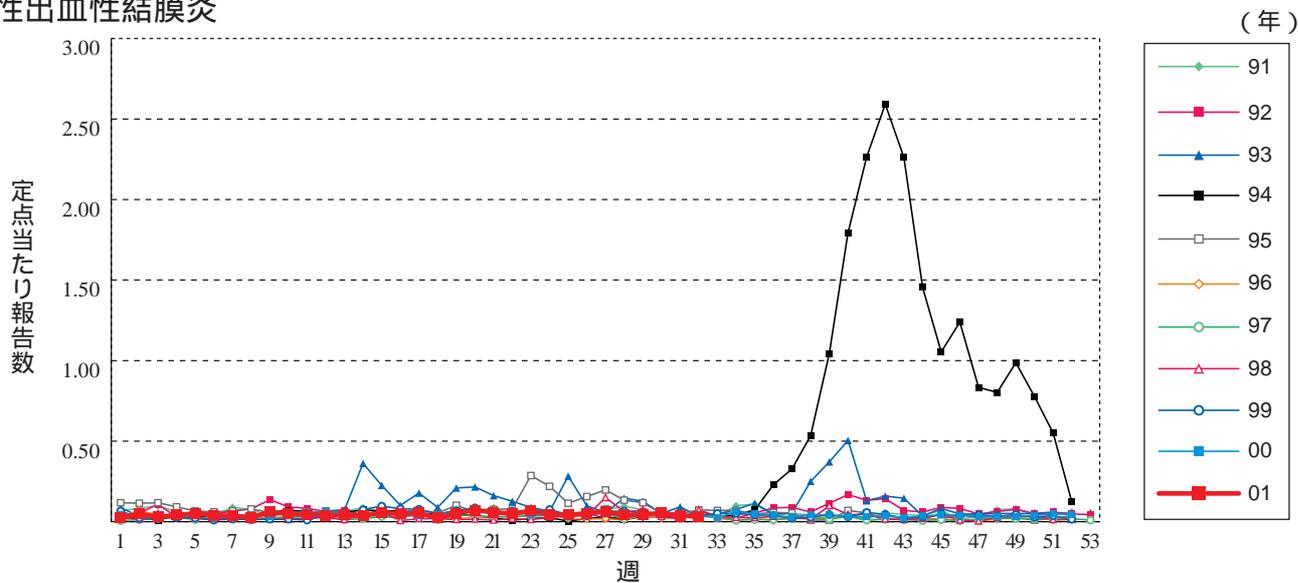
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



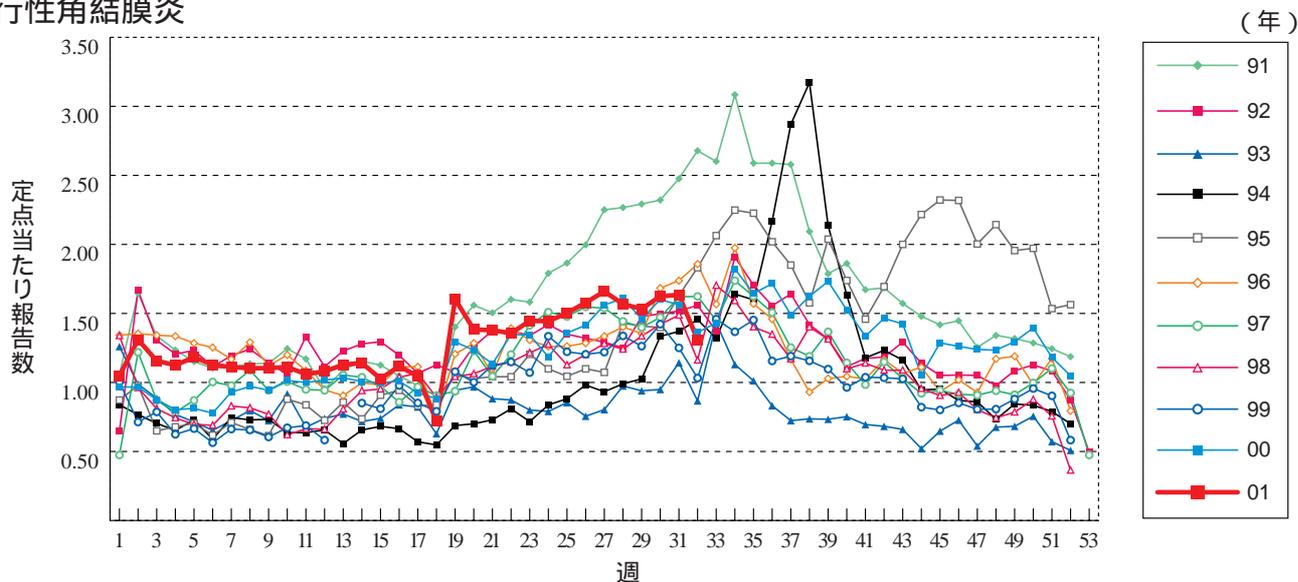
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

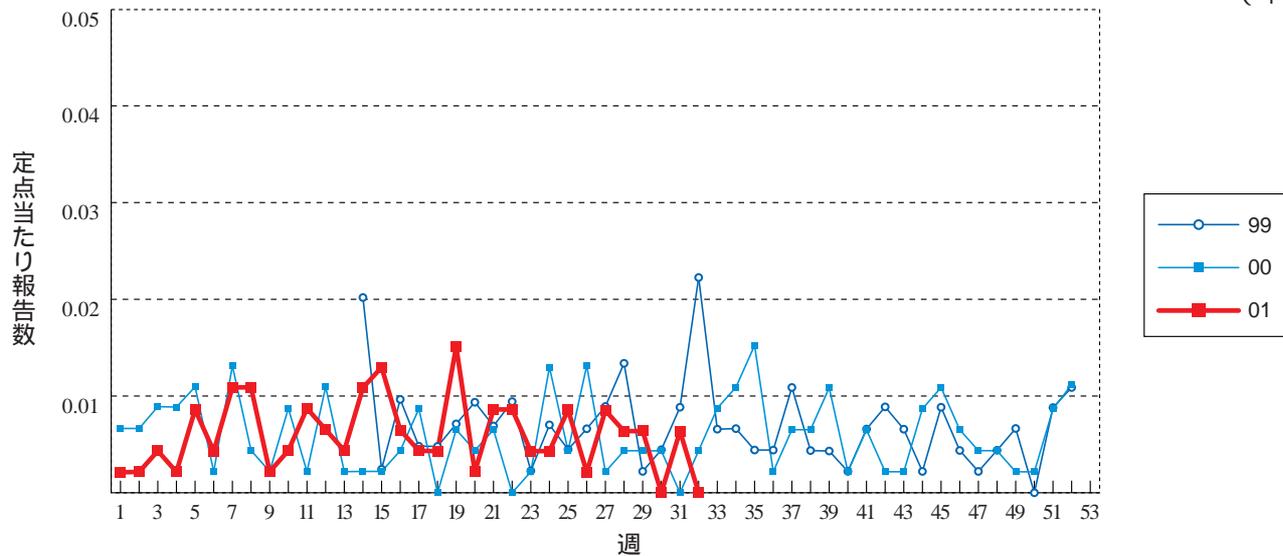


流行性角結膜炎



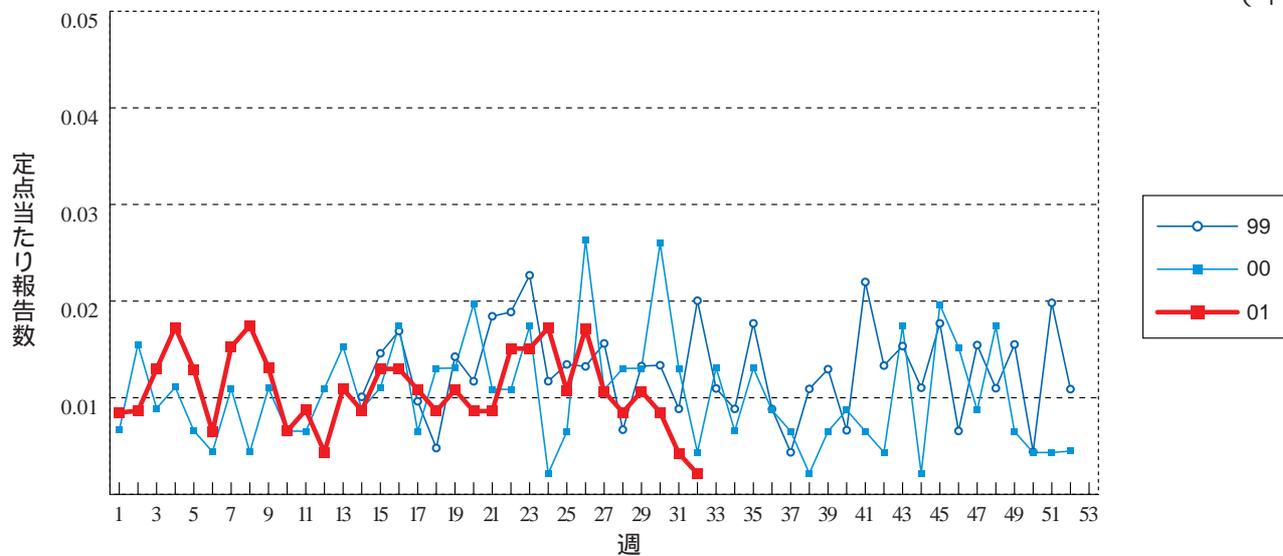
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



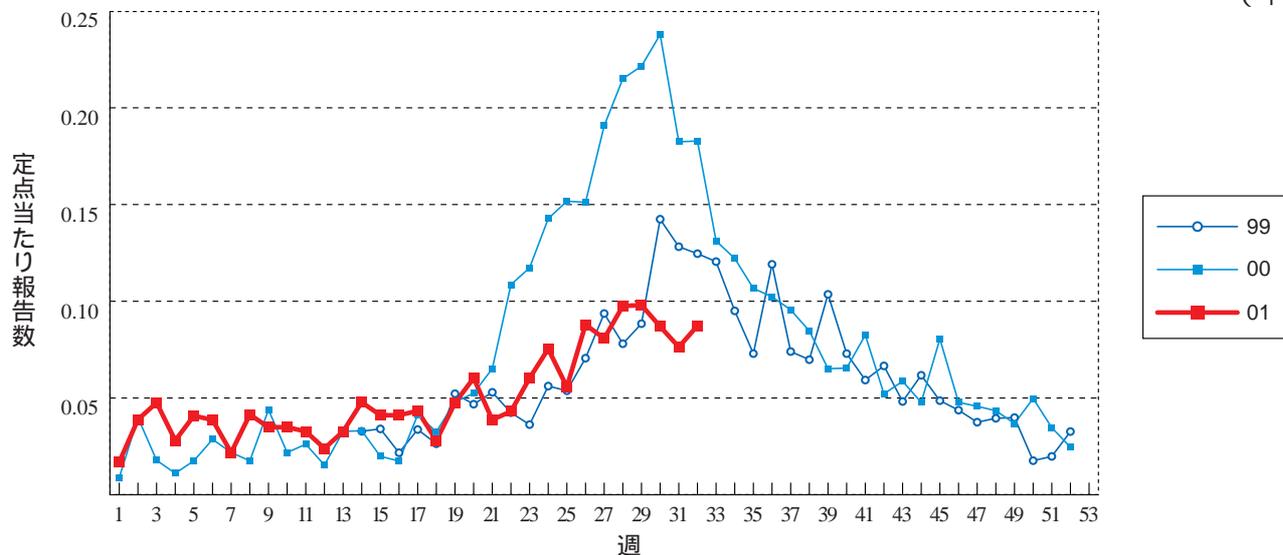
細菌性髄膜炎

(年)



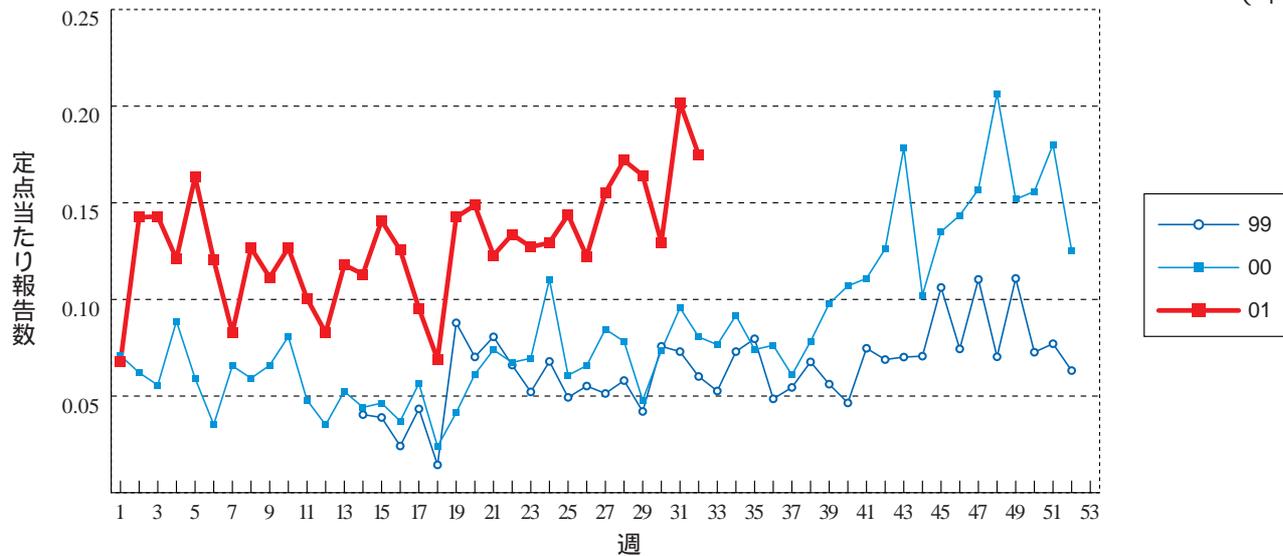
無菌性髄膜炎

(年)



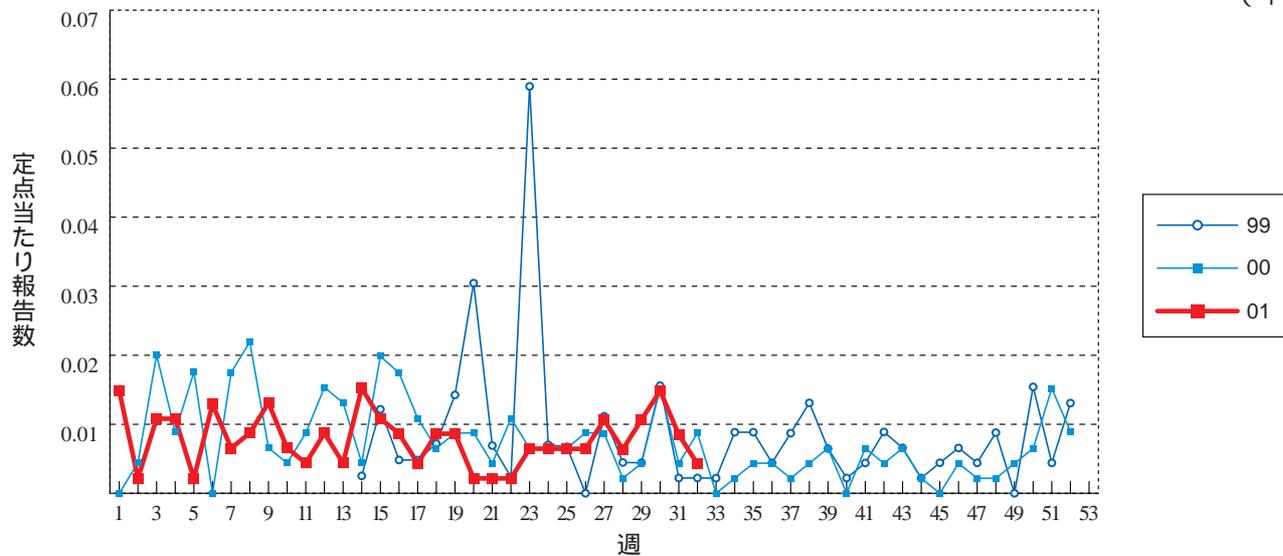
マイコプラズマ肺炎

(年)



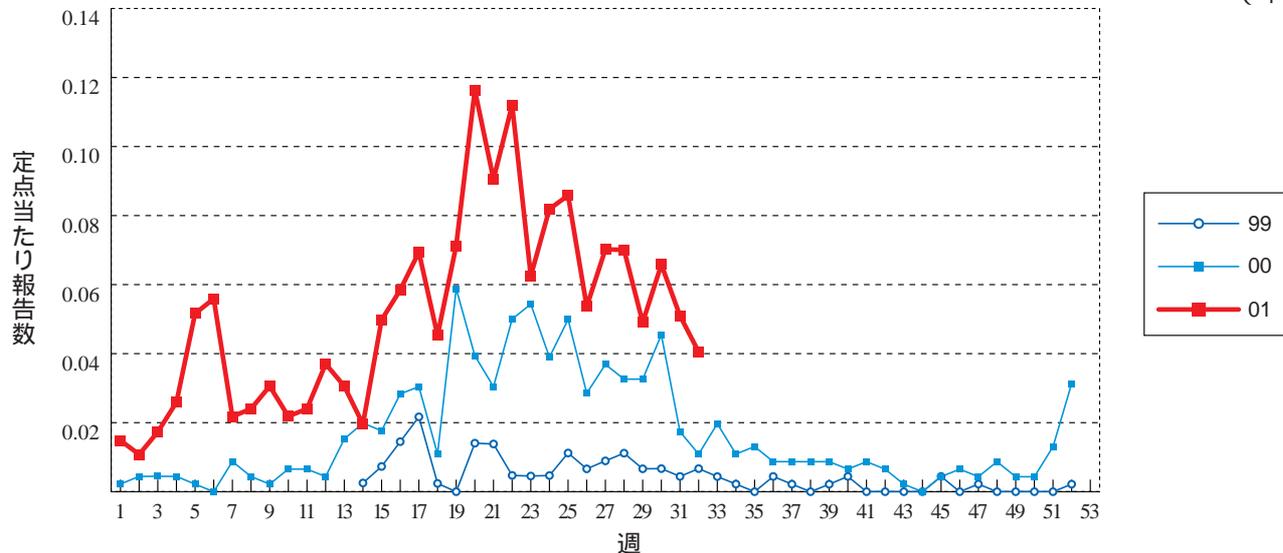
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





32週のデータ

注)表中の報告数は8月17日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年32週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	28	7	386	2	42	1	11
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	19	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	20	-	4	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	76	1	14	-	7
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	27	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	9	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	23	-	4	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	2	35	-	6	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	17	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年32週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	308	2532	4	227	-	6	-	-	1	26	-	-	5	548
北海道	-	-	-	-	3	61	1	4	-	5	-	-	-	-	-	-	-	6
青森県	-	-	-	-	1	22	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	20	45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	-	3	29	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	20
秋田県	-	-	-	-	19	42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	10	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	38	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	4	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
栃木県	-	-	-	-	-	19	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
群馬県	-	-	-	-	3	46	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
埼玉県	-	-	-	-	9	119	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11
千葉県	-	-	-	-	11	242	1	10	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
東京都	-	-	-	-	19	188	-	70	-	-	-	-	-	7	-	-	1	80
神奈川県	-	-	-	-	8	185	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35
新潟県	-	-	-	-	1	19	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
富山県	-	-	-	-	14	59	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	3	44	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
福井県	-	-	-	-	1	14	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
長野県	-	-	-	-	4	25	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
岐阜県	-	-	-	-	1	7	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41
静岡県	-	-	-	-	8	43	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
愛知県	-	-	-	-	10	112	-	10	-	-	-	-	1	5	-	-	-	15
三重県	-	-	-	-	6	58	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	31	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	3	60	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
大阪府	-	-	-	-	11	221	-	35	-	-	-	-	-	3	-	-	2	54
兵庫県	-	-	-	-	27	144	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	1	52
奈良県	-	-	-	-	3	42	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
和歌山県	-	-	-	-	2	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	9	70	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	7	50	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
広島県	-	-	-	-	5	55	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	14
山口県	-	-	-	-	6	26	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	1	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	3	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛媛県	-	-	-	-	4	41	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
福岡県	-	-	-	-	19	78	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40
佐賀県	-	-	-	-	23	41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	7	42	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
熊本県	-	-	-	-	3	23	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	2	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
宮崎県	-	-	-	-	5	20	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
鹿児島県	-	-	-	-	7	25	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
沖縄県	-	-	-	-	1	11	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年32週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	13	-	-	-	3	-	69	1	31	11	517	-	1	1	85	-	-
北海道	-	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	15	-	-	1	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	1	1	19	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	1	37	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	-	5	-	4	5	211	-	-	-	39	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	1	-	4	-	1	1	48	-	-	-	8	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	-	-	-	-	1	-	1	-	8	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	2	-	22	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	6	-	-	-	7	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	1	44	-	-	-	12	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	12	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	3	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	2	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年32週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	6	-	1	-	-	1	197	-	24	-	18	-	-	-	-	5	323
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10
青森県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山形県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	9
東京都	-	1	-	-	-	-	-	4	-	10	-	-	-	-	-	-	3	59
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	73
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	16
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	4
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	14
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮崎県	-	1	-	1	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年32週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	40	-	23	-	-	-	-	-	-	-	-	1	58	1	6	-	43
北海道	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
千葉県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
東京都	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	1	2	-	5
神奈川県	-	3	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
広島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年32週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	60	0.01	1370	0.46	902	0.30	5319	1.79	2010	0.68	3304	1.11	870	0.29	2393	0.81	24	0.01
北海道	11	0.05	56	0.39	64	0.44	131	0.90	175	1.21	245	1.69	12	0.08	76	0.52	-	-
青森県	3	0.05	20	0.48	8	0.19	40	0.95	29	0.69	27	0.64	18	0.43	31	0.74	1	0.02
岩手県	-	-	3	0.08	9	0.24	48	1.30	32	0.86	3	0.08	14	0.38	8	0.22	-	-
宮城県	-	-	7	0.12	5	0.08	110	1.86	41	0.69	71	1.20	34	0.58	51	0.86	-	-
秋田県	-	-	4	0.13	19	0.61	49	1.58	16	0.52	110	3.55	32	1.03	24	0.77	-	-
山形県	-	-	5	0.17	38	1.27	31	1.03	23	0.77	54	1.80	15	0.50	26	0.87	1	0.03
福島県	1	0.01	9	0.19	10	0.21	72	1.50	29	0.60	14	0.29	12	0.25	36	0.75	2	0.04
茨城県	1	0.01	32	0.44	26	0.36	65	0.89	37	0.51	29	0.40	18	0.25	33	0.45	-	-
栃木県	-	-	14	0.30	19	0.41	68	1.48	18	0.39	13	0.28	10	0.22	44	0.96	1	0.02
群馬県	-	-	69	1.17	28	0.47	73	1.24	38	0.64	30	0.51	24	0.41	43	0.73	-	-
埼玉県	3	0.01	127	0.93	67	0.49	265	1.95	142	1.04	116	0.85	82	0.60	113	0.83	1	0.01
千葉県	-	-	48	0.38	29	0.23	125	0.98	97	0.76	200	1.56	47	0.37	109	0.85	1	0.01
東京都	-	-	40	0.28	12	0.08	205	1.44	46	0.32	54	0.38	17	0.12	78	0.55	-	-
神奈川県	2	0.01	106	0.52	23	0.11	276	1.35	80	0.39	106	0.52	55	0.27	176	0.86	1	0.00
新潟県	2	0.02	59	0.98	24	0.40	65	1.08	30	0.50	79	1.32	6	0.10	46	0.77	-	-
富山県	-	-	2	0.07	20	0.69	52	1.79	7	0.24	14	0.48	5	0.17	19	0.66	-	-
石川県	-	-	7	0.24	12	0.41	73	2.52	17	0.59	34	1.17	5	0.17	24	0.83	-	-
福井県	-	-	3	0.14	6	0.27	103	4.68	22	1.00	145	6.59	15	0.68	15	0.68	-	-
山梨県	-	-	8	0.32	5	0.20	31	1.24	14	0.56	17	0.68	4	0.16	5	0.20	-	-
長野県	-	-	41	0.76	18	0.33	103	1.91	41	0.76	182	3.37	11	0.20	55	1.02	-	-
岐阜県	18	0.24	15	0.32	16	0.34	43	0.91	32	0.68	122	2.60	15	0.32	38	0.81	2	0.04
静岡県	2	0.01	112	1.30	22	0.26	181	2.10	44	0.51	157	1.83	38	0.44	90	1.05	-	-
愛知県	1	0.01	109	0.65	64	0.38	320	1.90	79	0.47	203	1.21	70	0.42	118	0.70	2	0.01
三重県	-	-	47	1.04	17	0.38	193	4.29	55	1.22	122	2.71	26	0.58	56	1.24	2	0.04
滋賀県	-	-	24	0.77	9	0.29	43	1.39	14	0.45	14	0.45	6	0.19	21	0.68	-	-
京都府	1	0.01	16	0.21	16	0.21	179	2.36	43	0.57	21	0.28	15	0.20	45	0.59	1	0.01
大阪府	1	0.00	34	0.18	41	0.21	306	1.58	137	0.71	44	0.23	27	0.14	166	0.86	3	0.02
兵庫県	1	0.01	26	0.21	29	0.23	281	2.23	81	0.64	115	0.91	20	0.16	143	1.13	1	0.01
奈良県	-	-	9	0.26	9	0.26	68	1.94	36	1.03	6	0.17	16	0.46	24	0.69	-	-
和歌山県	-	-	26	0.84	11	0.35	31	1.00	16	0.52	4	0.13	-	-	18	0.58	-	-
鳥取県	-	-	17	0.89	25	1.32	97	5.11	9	0.47	19	1.00	2	0.11	31	1.63	-	-
島根県	-	-	1	0.04	3	0.13	37	1.61	18	0.78	8	0.35	-	-	21	0.91	-	-
岡山県	-	-	3	0.06	5	0.09	61	1.13	18	0.33	28	0.52	2	0.04	17	0.31	-	-
広島県	-	-	56	0.79	10	0.14	150	2.11	24	0.34	98	1.38	25	0.35	48	0.68	-	-
山口県	-	-	13	0.27	14	0.29	96	1.96	22	0.45	84	1.71	17	0.35	42	0.86	1	0.02
徳島県	-	-	1	0.04	6	0.26	50	2.17	18	0.78	22	0.96	4	0.17	19	0.83	-	-
香川県	-	-	10	0.31	10	0.31	61	1.91	19	0.59	33	1.03	12	0.38	33	1.03	-	-
愛媛県	-	-	27	0.69	13	0.33	137	3.51	25	0.64	40	1.03	11	0.28	43	1.10	3	0.08
高知県	-	-	18	0.58	7	0.23	42	1.35	38	1.23	11	0.35	8	0.26	23	0.74	-	-
福岡県	1	0.01	26	0.25	45	0.43	226	2.15	55	0.52	77	0.73	32	0.30	90	0.86	-	-
佐賀県	-	-	26	1.13	11	0.48	15	0.65	33	1.43	55	2.39	11	0.48	37	1.61	-	-
長崎県	-	-	8	0.17	6	0.13	69	1.44	22	0.46	79	1.65	12	0.25	30	0.63	-	-
熊本県	-	-	15	0.31	22	0.45	96	1.96	51	1.04	118	2.41	16	0.33	76	1.55	-	-
大分県	-	-	27	0.75	14	0.39	168	4.67	50	1.39	46	1.28	9	0.25	38	1.06	-	-
宮崎県	-	-	29	0.78	21	0.57	191	5.16	57	1.54	79	2.14	24	0.65	43	1.16	1	0.03
鹿児島県	8	0.08	14	0.23	12	0.20	178	2.97	58	0.97	146	2.43	11	0.18	54	0.90	-	-
沖縄県	4	0.07	1	0.03	2	0.06	15	0.44	22	0.65	10	0.29	5	0.15	17	0.50	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年32週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	24	0.01	6403	2.15	455	0.15	4710	1.58	18	0.03	809	1.31	-	-	1	0.00	41	0.09
北海道	1	0.01	268	1.85	53	0.37	201	1.39	1	0.03	47	1.62	-	-	-	-	-	-
青森県	2	0.05	227	5.40	1	0.02	57	1.36	-	-	13	1.18	-	-	-	-	1	0.17
岩手県	-	-	110	2.97	-	-	33	0.89	3	0.25	10	0.83	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	0.02	234	3.97	3	0.05	53	0.90	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-
秋田県	1	0.03	200	6.45	1	0.03	35	1.13	-	-	1	0.17	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	109	3.63	-	-	51	1.70	1	0.13	1	0.13	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	190	3.96	19	0.40	75	1.56	-	-	23	1.92	-	-	-	-	1	0.14
茨城県	3	0.04	83	1.14	4	0.05	108	1.48	-	-	56	3.50	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	52	1.13	8	0.17	55	1.20	-	-	8	0.67	-	-	-	-	-	-
群馬県	2	0.03	80	1.36	4	0.07	52	0.88	-	-	16	1.45	-	-	1	0.10	-	-
埼玉県	3	0.02	310	2.28	16	0.12	272	2.00	-	-	62	1.82	-	-	-	-	-	-
千葉県	3	0.02	254	1.98	13	0.10	164	1.28	2	0.06	40	1.21	-	-	-	-	1	0.08
東京都	-	-	178	1.25	9	0.06	106	0.75	-	-	27	1.93	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	-	-	302	1.47	28	0.14	301	1.47	-	-	32	0.76	-	-	-	-	1	0.09
新潟県	-	-	204	3.40	-	-	151	2.52	-	-	9	1.00	-	-	-	-	5	0.38
富山県	-	-	307	10.59	-	-	76	2.62	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.03	71	2.45	-	-	143	4.93	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	53	2.41	2	0.09	83	3.77	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	27	1.08	1	0.04	32	1.28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	332	6.15	-	-	143	2.65	-	-	29	2.90	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	60	1.28	5	0.11	93	1.98	1	0.09	7	0.64	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	190	2.21	22	0.26	129	1.50	-	-	10	0.50	-	-	-	-	2	0.25
愛知県	1	0.01	249	1.48	30	0.18	313	1.86	-	-	44	1.38	-	-	-	-	-	-
三重県	1	0.02	85	1.89	3	0.07	62	1.38	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.22
滋賀県	-	-	80	2.58	3	0.10	45	1.45	-	-	6	0.86	-	-	-	-	1	0.14
京都府	-	-	81	1.07	8	0.11	92	1.21	1	0.06	9	0.50	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	327	1.69	14	0.07	307	1.58	2	0.04	33	0.63	-	-	-	-	1	0.08
兵庫県	1	0.01	230	1.83	7	0.06	133	1.06	1	0.03	47	1.38	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	50	1.43	5	0.14	48	1.37	-	-	8	0.89	-	-	-	-	4	0.67
和歌山県	-	-	81	2.61	3	0.10	72	2.32	-	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	95	5.00	-	-	6	0.32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	57	2.48	10	0.43	12	0.52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	99	1.83	1	0.02	27	0.50	-	-	17	1.42	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	146	2.06	4	0.06	59	0.83	1	0.08	22	1.69	-	-	-	-	6	0.30
山口県	-	-	88	1.80	13	0.27	47	0.96	-	-	17	1.89	-	-	-	-	-	-
徳島県	1	0.04	32	1.39	1	0.04	36	1.57	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	85	2.66	3	0.09	79	2.47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	198	5.08	2	0.05	109	2.79	-	-	30	4.29	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	67	2.16	3	0.10	12	0.39	-	-	9	3.00	-	-	-	-	2	0.25
福岡県	-	-	83	0.79	33	0.31	214	2.04	-	-	62	2.58	-	-	-	-	5	0.33
佐賀県	-	-	31	1.35	4	0.17	99	4.30	1	0.25	4	1.00	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	41	0.85	21	0.44	44	0.92	3	0.30	16	1.60	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.02	94	1.92	20	0.41	119	2.43	1	0.11	28	3.11	-	-	-	-	2	0.13
大分県	-	-	98	2.72	9	0.25	60	1.67	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	126	3.41	12	0.32	71	1.92	-	-	31	7.75	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	37	0.62	6	0.10	115	1.92	-	-	10	1.67	-	-	-	-	1	0.08
沖縄県	1	0.03	2	0.06	51	1.50	116	3.41	-	-	11	1.10	-	-	-	-	3	0.43

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成13年32週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	82	0.17	2	0.00	19	0.04
北海道	-	-	-	-	1	0.04
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-
宮城県	5	0.42	-	-	-	-
秋田県	2	0.29	-	-	-	-
山形県	1	0.10	-	-	-	-
福島県	5	0.71	-	-	1	0.14
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	2	0.22
千葉県	2	0.15	-	-	1	0.08
東京都	-	-	-	-	4	0.16
神奈川県	1	0.09	-	-	-	-
新潟県	3	0.23	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	1	0.10	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	5	0.63	-	-	-	-
愛知県	3	0.23	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	2	0.29	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	7	0.58	-	-	-	-
兵庫県	1	0.07	-	-	-	-
奈良県	2	0.33	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	6	1.20	-	-	-	-
島根県	7	0.88	-	-	-	-
岡山県	2	0.40	-	-	-	-
広島県	3	0.15	-	-	1	0.05
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	2	0.33	-	-	-	-
高知県	1	0.13	-	-	-	-
福岡県	2	0.13	-	-	2	0.13
佐賀県	7	1.17	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	3	0.20	-	-	-	-
大分県	3	0.30	-	-	-	-
宮崎県	4	0.57	2	0.29	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	0.14	-	-	6	0.86

感染症週報 第3巻、第32号 平成13年8月24日発行
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
TEL：03-5285-1111
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html
<国立感染症研究所 感染症情報センター>
http://www.mhlw.go.jp/
<厚生労働省>
http://www.forth.go.jp/
<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。